

【校長室便り】

No.42

H30年1月18日（金）土佐町小中学校 谷内宣夫



何のために勉強するのか？第4弾

昨年12月10日から、「なぜ？勉強しなければならないか？」という内容の便りを出しています。

約1か月の間に、土佐町小中学校の児童生徒の皆さんに「あなたは何のために勉強してるの？」と聞きました。

以下に答えられたものをあげてみます。

中学3年生に聞くと、「高校に行くため」「今はとりあえず高校に合格しなければならないので勉強している」という答えがあった。「高校には入れたら勉強しないの？」と聞き返すと、「大学に入るため」「就職するために勉強する」という答えであった。「そのあとは？」と聞くと「まだ考えていない」「その時になったら考える」

今は受験で余裕がなくなっているのではと思うが、そのような答えを聞いて、なんだか寂しいなと感じました。

もちろん、中学3年生のみんながこのような答えではありません。「なるほど!」「素晴らしい!!」と思う答えを返してくれた生徒もたくさんいます。

たくさんのお子様に質問した中で、なるほど・よく考

えているなど思った答え、感動した答えを紹介したいと思います。

○将来お医者さんになるため、校長先生が病気になったら治してあげる。



○大人になって仕事を選ぶとき、選択の幅が広がる。

○勉強を進めるうちに、それまで気付かなかった

自分の得意なこと・才能に出会える。



○自分ができることは何か、自分の可能性を見つける（広げる）ことができる。（今はわからないけど・・・）

○将来しっかりとした職業について、社会に役立つ人間になるため・親孝行するため・看護師になるため。

○勉強して成績が上がることで、親に喜んでもらえる。

自分も嬉しい。自信がつく。



○自分の子どもに尊敬される親（人間）になるため。

○将来海外で仕事をしたいと考えていて、今英語を学ぶことはその基礎を身につけるために必要だから。

○高校・大学と進学する中で、たくさんの人と出会える。

出会いの多さで豊かな人生を送ることができる。

○将来土佐町に帰ってきて土佐町のためになる仕事をする。

○将来自分の人生をエンジョイできるようにするため。

○やらないといけないことはやらなければならない。等々

これらの答えを聞いて、土佐町小中学校



の将来は明るい！と感じたことでした。

遠い将来のため、目の前の目的を達成するため、自分の

人生を左右する大きな理由、今日・明日を幸せにする小さな

理由・・・と、勉強することの理由は様々です。ただ、目の

のことばかりを考えたものだと、おもしろく感じるでしょう

か？真剣に取り組み、それを継続していけるのでしょうか？こ

こで2つの話を紹介します。まず1つ

勉強をすることによって身につく「大切なもの」がありま

す。それは、「集中力」、「考える力」、「情報を正しく

読み取る力」です。この3つの力をつけるために基礎学習

教育（義務教育）があるといってもいいと思います。

この3つの力は将来何をやるにしても役に立ちます。

人間の精神力の根源は、思い出です。

とくに子供の頃の思い出は、大人になってからも大きく

影響します。社会に出て壁にぶつかったとしても、「あの

ときも、できそうもなかったことをやり遂げたじゃないか」

という思い出があれば乗り越えられる。学力とは、つまるところ

「人生を強く生き抜く力」や「苦勞を耐えて乗り越える力」だと私は考えています。



それを体験的に身につけることこそ、

学校で勉強をする意味なのだと言えます。

人生を左右する大きな選択をする時まで、自分の中に

判断基準の軸となるようなものができていないと、間違っ

た道を選んでしまうかもしれないですね。人生を自分で切

り開いていくための力を身に付けるため・人生の大事な場面

で自分で判断し、ベストな「選択」ができる人間になるた

めの訓練・勉強を通じて「集中力」「考える力」

「情報を正しく読み取る力」を身につけているのだと考

えます。参考サイト：



陰山英男「学校で勉強する意味」